

# エルサルバドル政治・経済・治安月報

(2018年2月分)

2018年3月  
在エルサルバドル大使館

## [大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

## [大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護、日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し、風通しの良い職場環境の維持。

## 内政

### 1. 選挙キャンペーン

市長選挙のキャンペーン開始（5日）以降、内政は選挙一色。選挙戦で大きな混乱は発生せず。明年の大統領選挙の候補者（ARENAのカジェハ候補、シマン候補等を含む）もキャンペーンを実施。JRVの訓練不足を含めTSE（選挙管理委員会）の迅速な集計作業に対する不安がプレス等で指摘された。

各種世論調査は押し並べてFMLNの敗北を予測。

## 外交

### 1. TPS 関連

マルティネス外相は米国を訪問し（5日～9日）、サリバン国務副長官他と協議し、またロンドン・カルフォニア州議会下院議長が当国を訪問し（15日）、サンチェス・セレン大統領と会談した。

### 2. ベネズエラ外相の当国訪問(15日)

アレアサ外相が当国を訪問し、「サ」大統領と会談した。

### 3. 「サ」大統領の反論（23日）

トランプ米国大統領がマラス関連でエルサルバドル政府の対応を批判・揶揄したのに対し、「サ」大統領が反論した。

# 経済

## 1. IMF ミッションの当国訪問

IMF ミッションが当国を訪問し、カブレラ中銀総裁と GDP 成長のための公共政策、TPS（米国による一時的被保護資格）終了による経済への影響、金融システムの安定等につき協議した。カブレラ総裁によると、IMF とのスタンバイ取極については今次協議のテーマとはならなかった。今次訪問の報告書は、3月下旬に公表される予定。

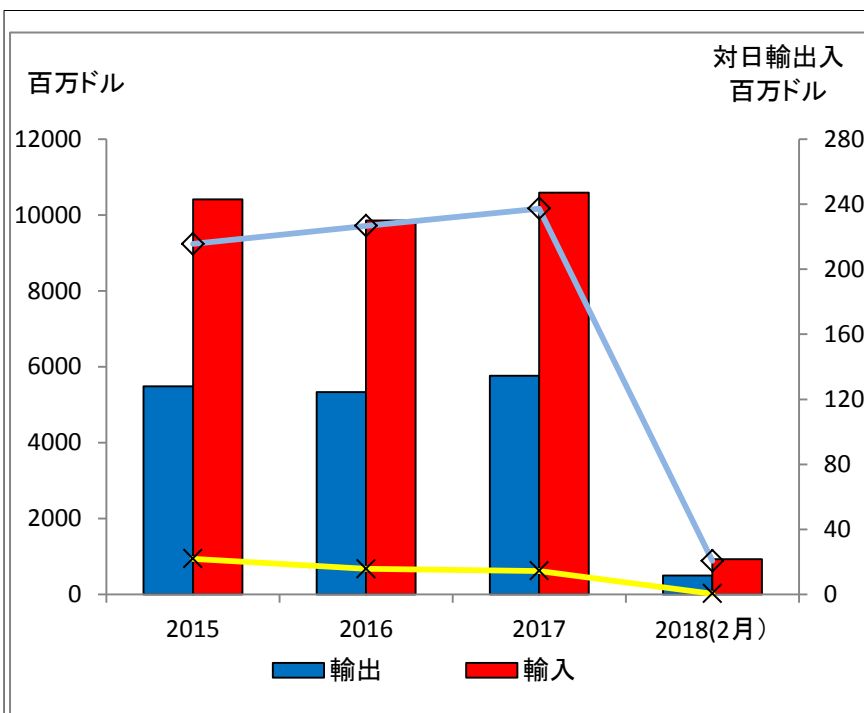
## 2. 第3回税関統一交渉

ホンジュラスとグアテマラが進めている税関統一へのエルサルバドルの加盟を協議する第3回税関統一交渉が実施された。同協議において、エルサルバドルが税関統一加盟のために適用しなければならない手続や規範につき協議された。また、中米単一インボイス (Fyduca) の作成が終了し、右インボイスが適用されれば、ホンジュラス・グアテマラの約80%の通商に使用され、国境税関での手続時間が大幅に転宿される見込み。

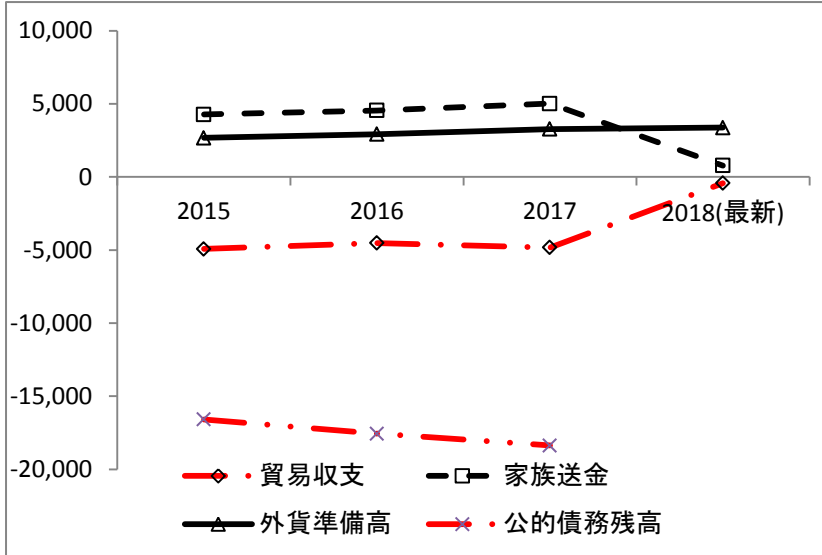
## 3. 中米・韓国FTAの署名

21日、ソウルにおいて、中米・韓国自由貿易協定 (FTA) が署名された。本FTA発効により、エルサルバドルの医薬品、コーヒー豆、スナック菓子等の関税が即時撤廃され、また、精糖の輸入割当ても撤廃される。また、自国産品保護の観点から、乳製品、プラスチック、鶏肉等の342品目が除外品目となった。

なお、韓国産品の対エルサルバドル輸入に関しては、アロエ飲料、自動車部品、電化製品等の関税が即時撤廃される。



- ・2017年度輸出額は前年比で6.3%増加し、57億6千万ドルとなった。中でも、衣服、繊維、砂糖の輸出が輸出額増加に寄与した。
- ・輸入に関しては、前年比で7.8%増加し、105億9,200万ドルとなった。



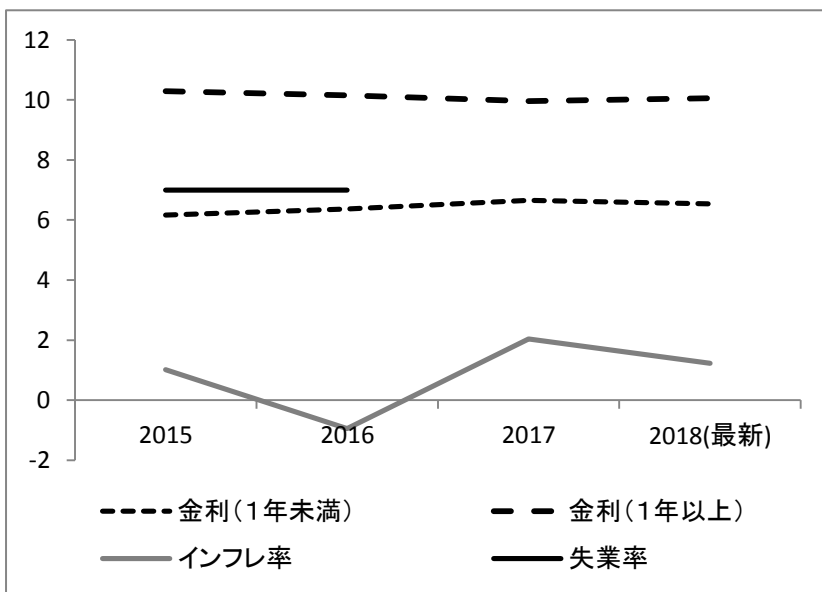
・輸出は増加したものの、2017年の貿易赤字は前年比で9.6%増加し、48億3,200万ドルとなった。

・2017年の家族送金額はここ数年で最も高くなり、前年比で9.7%増加し、50億2,100万ドルとなった。米国からの家族送金は全体の約97.2%を占める。

・2018年2月までの家族送金額は、TPS終了により、減少する可能性が言及される中、7億7,840万ドルとなり、前年同期比で7.2%増加した。

・2017年度のインフレ率は2.04%となった。主に、住居、水、電気、ガス価格が上昇したことに起因。

・2017年度より失業率は公表されていない。



出所：中央銀行，経済省統計局より作成

## 治安

### 【主要事件・報道】

1. 当地主要紙の報道によると、2月の殺人件数は310件となり、1月と合わせると625件となった。当国治安当局によると、犯罪組織内の肅正による殺人及びライバル犯罪組織同士の抗争等が主な原因としている。

2. 2月16日、ソヤパンゴ市内を走る路線バス (La Ruta 7) が犯罪集団からの脅迫により、運休状態となった。その前日に、犯罪集団はバス会社に対して、月々のみかじめ料を支払ってこなかったことを理由として、見せしめのために、走行中のバスに発砲し脅しを掛けた。これは、犯罪集団が活動資金を得るための常套手段であり、同様の手口にて、偶然居合わせた乗客に被害が及ぶこともあることから、引き続き、公共路線バスの利用は安全を考慮し控えるべきある。また、2月17日にもメヒカーノス市内を走行する路線バス (Ruta6) も犯罪集団から銃撃を受け、1名死亡、2名が重症を負う事件が発生している。

3. 2月11日午前7時頃、ラ・リベルタ県サンタテクラ市の県道にて放置車両が爆発し、調査をしていた市民警察官2名が重傷を負う事件が発生した。治安当局によると、県道中央分離帯付近に乗り捨てられてあった不審車両を巡回中の市民警察官が発見し、車両外周確認及び車窓から内部を確認したのち、車両扉を開放しようとしたところ、車両が爆発し、2名の市民警察官が負傷、救急搬送された。当該車両は2月7日に車両強盗により強奪されたタクシー会社の車両であり、事件当日、当該車両には手製爆弾が仕掛けられていたとのこと。現在、治安当局にて事件の詳細につき、調査中だが、犯行目的等は明らかになっていない。

また、類似の事件として、2月22日にサンサルバドル市サンマテオ地区の路上に車両が放置されており、爆弾処理班にて検索したところ、車両内には車両爆弾の模造品が置かれているのみであり、爆発物は仕掛けられていなかった。今後も同様な事件が発生する可能性は否めないことから、不審車両に限らず、不審物（宛名の無い小包や紙袋等）には決して近づかず、爆発物（不審物件）発見時の三原則「触るな」「踏むな」「蹴飛ばすな」を励行し、身の安全の確保に努めていく必要がある。

4. 1月1日から2月27日までの交通事故発生件数は、3,197件であり、そのうち、死亡者231名、負傷者は1,535名であった。交通事故の主な原因としては、交通ルール違反であり、酒酔い運転や速度超過等である。また、若者による交通事故が多発している。

#### 【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 2月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。
2. 2月1日、サンサルバドル市エスカロン地区にて、麻薬の不法所持及び密輸の疑いで37歳の男が現行犯逮捕された。治安当局によると、男は、コカインの小結晶10個及び多額の現金を所持していた。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリノ児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計  
主要 11 犯罪（1 月）過去 2 年との同時期の比較

